

項目	書名 図画工作 ゆめを広げて	9 開隆堂
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい作り方やカラフルで多様な作品例をあげて、児童に作る楽しさを感じさせるような工夫をしている。 ・活動の見通しや振り返りの言語活動についても位置づけている。 ・多くの作品や創作活動をしている場面の写真を豊富に取り入れ、作り出す意欲を引き出そうとしている。 	
特色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工具箱」「パレットコーナー」で、題材に必要なものを絵や写真でわかりやすく表す工夫がされている。 ・造形活動を楽しみながら、自然に技能が身に付く工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材に対して多くの作品例を載せて、どんな作品にするか、どのように作品を作っていくか、イメージを広げることができるような発想のポイントが工夫されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品製作の課題が示されていたり、活動内容が具体的に載せられていて、児童の意欲を高める工夫がされている。 ・題材名と共に、めあてが文章で具体的に示されている。 <p><題材の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」「作者の言葉」などにより、「共通事項」を意識させている。 ・子どもの発達段階に適した題材が設定されている。 ・色や形、構成の工夫がわかりやすい作品が選定されている。 <p><鑑賞の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの作品を見合う場合には、どんな視点で見るか参考になる文章を載せたり、「みんなのギャラリー」では各地の伝統文化にもふれている。 <p><材料や用具の扱い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「工具箱」で、写真や図を用いて具体的に材料や用具の使い方を示している。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材に製作手順や知識となる内容が絵や写真を用いてわかりやすく示されている。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルは題材とイメージが結びつくような文字の並び方や色使い、背面にイラスト等を配置し工夫して示されている。 ・作品についての説明は、児童の言葉で表現されており、親しみが持てる。また、使われている用具や材料、作品の大きさが示され具体的である。
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の題も各学年わくわく感のある題で、自分のイメージを広げることができる題材が多い。カラフルで発想豊かな作品例の写真が多く、児童の製作意欲に繋がる ・大きな図版で見せたり、部分拡大をしたりするなどわかりやすくなっている。 ・巻末に、材料や用具の扱いを示し、確認できるようになっている。 	

図画工作科調査資料1-2

項目	書名 116 日 文 図画工作 見つめて 広げて
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の基礎的な作り方やできあがった作品の写真を多くあげ、イメージを広げやすい工夫をしている。 ・「学習のめあて」をまず設定し、導入・展開・終末のいつでもそこに立ち戻れるようになっている。 ・多くの作品や創作活動をしている場面の写真を豊富に取り入れ、作り出す意欲を引きだそうとしている。
特 色 内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工作や絵を描く活動に必要な基礎・基本の知識や技法がまとめられている。また、各題材毎に主な用具等マークで示すことで、造形活動の基礎的能力を培えるようになっている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が作成している様子の写真も合わせて載せて、それをヒントに発想が広げられるようにしている。 ・キャラクターのコメントを用いて、子どもたちへ発想や構成のヒントを与える工夫がされている。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名の横に、どのようにその作品に向かうかのヒントが書かれている。 ・子どもたちの活動の様子の写真が多く用いられ、意欲が高まる工夫がされている。 <p>＜題材の設定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名や導入文、授業写真によって活動内容がわかり、見通しを持って自分の思いを表現できるようになっている。 <p>＜鑑賞の指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材において、学習のめあてが明示されており、表現と鑑賞が関連付けて学習できるよう工夫されている。 <p>＜材料や用具の扱い＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「使ってみよう材料と用具」を6ページ設定し、材料・用具の取扱いを楽しく的確に学ぶことができるようになっている。
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な材料・用具の取扱いについては、巻末にまとめ、活動中いつでも、参照できるようになっている。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが活動や工夫のポイントを伝え、「きをつけよう」「かたづけ」という言葉とマークでポイントを簡潔に示している。作者の言葉も囲みを使って表されている。
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の手がかりになる写真やヒントになる言葉が数多くあり、児童が活動しやすい工夫がなされている。 ・造形活動を通して育てたい力をテーマとして設定したり、活動内容が分かる題材名にしたりして、造形活動への意欲が高まるよう工夫している。 ・「図画工作の広がり」では、活動を通じた、人との触れ合いや身近な地域、社会との共生の様子を紹介し感性を育もうとしている。